

京林大だより

No.28



絵：卒業生 熊走君

第40回全国育樹祭開催



全国育樹祭のお手入れ行事が10月8日（土）に山城総合運動公園で行われ、翌9日（日）には式典行事が府民の森ひよしで行われました。

お手入れ行事では、天皇皇后両陛下が平成3年の全国植樹祭でお手植えされた北山杉とシダレザクラを皇太子殿下がお手入れされ、そのお手伝いを2年生がしました。

式典行事では林大生が、友好提携先であるケベック州から贈られる苗木を運んだり、また、林大の卒業生が林業後継者を代表し誓いの言葉を述べました。

様々な場面で大活躍の2日間でした。



友好提携先のケベック州の旗とともに、贈られるメープルの苗木を持って登壇する1年生。



天皇陛下が植えられたスギの木のお手入れについて説明をする2年生。



森林林業の担い手として、大会テーマの垂れ幕とともに登場した在校生と卒業生。



皇后陛下が植えられたシダレザクラに肥料を施されるのをお手伝いする2年生。



林業の若い担い手として誓いの言葉を述べる卒業生。

第1回「林大祭」やります

林大生・卒業生・そして地域の皆様との親睦と交流を目的に、第1回「林大祭」を開催します。

12月3日（土）は、林業関係者向け、12月4日（日）は子どもたちが楽しめる行事を準備して皆様のお越しをお待ちしています。ぜひご家族お揃いでお越しください。

「林大祭」プログラム

12月3日（土）

●「木の駅」13:00～17:00

あなたの山に残った木、庭の伐採木などまとめて、軽トラック一杯（350kg）分お持ちください。ビールはじめ、和知地域限定の商品券と交換します。学生ホールでは喫茶コーナーを開催。木を活かす楽しみを満喫しよう。

12月4日（日）

●「模擬店」10:00～15:00

芋煮会、うどん、あっと驚く森の恵み等

●森のアスレチック・ゲーム大会

●講演会13:00より林業センター2階ホール

講師：千松信也氏

演題：「ぼくは猟師になった」（仮題）

林政ニュース

全国育樹祭の併催行事として森林・林業・環境機械展示実演会が、福知山市三和町の長田野工業団地アネックス三和で10月9日（日）10日（月・祝）に開催され、最新式の林業機械の展示、実演が行われました。

親子での参加も見られ、大型の林業機械で瞬間に立っている樹木を伐って、枝を払い、短く切られていく様子を食い入るように見ていました。

明らかに林業関係者と思われる方々は、各機械メーカーを回って実際に機械に乗せてもらったりして品定めをしていました。

大型の機械は、格好が良くてこんなのに乗って林業をしてみたいと思わせるものばかりで、未来の林業の姿を想像して明るい気持ちになりました。



会場に所狭しと並べられた最新式の機械。



校長室より

全国育樹祭

校長 只木 良也

「古い都」だけではない京都のキャンペーン、「もう一つの京都」の一環として、丹波を中心に「森の京都」運動展開中の京都府で、10月8、9日第40回全国育樹祭。

戦時中に荒れた山林を緑に戻そうと、昭和25年に始まったのが「全国植樹祭」。ここで天皇皇后両陛下が植栽された「お手植えの木」を後年、皇太子殿下が手入れされるのが「育樹祭」。

皇太子殿下をお迎えしての京都の育樹祭は、「育樹の輪 ひろげる森と木の文化」がテーマ。イベントは「お手入れ」「国際森林シンポジウム」「歓迎懇談会」「記念式典」...

8日、「お手入れ」終わり、夜亀岡市での懇談会では、私は殿下とお話する約十数名の一人に選ばれました。ご下問に応じて、「新設林大で、次代の林業を担う若者たちを育てることに意義を感じています」とお答えしたところ、「期待しています」とのお言葉をいただきました。

わが京都林大の学生たちも、「お手入れ」の介添え役、9日の式典には垂れ幕持ちに始まり、林業後継の若者集団として大挙登壇、将来への決意を述べるなど大活躍。式典後の学生さんたちの感慨は「俺たちがやらねば...」とますます意欲的。式典には、卒業生も十余名出席、在校生と行動を共にしてくれました。

「お手植え」の樹を次の世代が「お手入れ」、そこに森と木の文化の維持の重要性が象徴されています。そしてそれを訴え続けることが私たちの使命と、改めて感じたのでした。